

## はじめに

今般、大分県長期教育計画（「教育県大分」創造プラン2016）を改訂しました。

本計画は平成28年に、大分県長期総合計画（安心・活力・発展プラン2015）と大分県教育大綱をベースとして策定したものです。策定から4年が経過しましたが、この間、大分県の教育を取り巻く状況には大きな変化がありました。

まずは、超スマート社会（Society5.0）の到来です。I o T（Internet of Things）や人工知能（A I）などの先端技術が世の中のありようまで変えようとしている中で、学校の教育環境整備、S T E A M教育等の教科横断的な教育の推進、そして新たな技術を活用した教育方法の変化への対応が求められています。

そして、地方創生の推進です。本格的な人口減少社会を迎え、一段と進んだ人口減少をなんとか緩和するためには、地域を担い、地域を支える人材育成に向けて「人を大事にし、人を育てる」施策を展開していく必要があります。また、ラグビーワールドカップ2019等の国際的なスポーツイベントを通じて文化・スポーツ振興の機運が高まる中で、文化・スポーツ面からの「基盤を整え、地域を活性化する」取組が期待されています。

こうした情勢の変化を受け、本計画の計画期間（平成28年度～令和6年度）の中間年にあたり、大分県長期総合計画（安心・活力・発展プラン2015）に合わせて見直しを行いました。

今回の改訂にあたっては、教育界はもとより各界の第一線で活躍されている16名の有識者からなる委員会での議論を踏まえ、また、パブリックコメント等により、県民の皆様や市町村教育委員会からも、多くのご意見を伺い、この計画に反映させてきました。貴重なご提言をいただいた皆様にこの場をお借りして心から御礼申し上げます。

本計画の実施にあたっては年度毎の点検・評価によりフォローアップを行い、しっかりと政策の中に反映していきます。

県民総ぐるみで「教育県大分」を築くためには、学校現場や市町村教育委員会との意思疎通、知事部局との連携を密にすることはもとより、広く県民の皆様と本計画の目指すところを共有し、取り組んでいきたいと考えています。次代を担う大分県の全ての子どもたちが、変化の激しい予測が困難な時代においても未来を切り拓く力と意欲を身に付けられるよう、これまでの教育改革の流れを継承し、更なる高みを目指して不断の努力を継続していきます。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年（2020年）3月

大分県教育委員会

教育長 工藤 利明